

エコアクション21

環境経営レポート

株式会社 天井丸建設



2024年度

運用期間 2024年4月1日 ～ 2025年3月31日

2025年 4月 30日 発行

【 目 次 】

項目No	項 目 名	レポートの 要求No	ページ
	表 紙	ー	1
	目 次	ー	2
1	組織の概要及び対象範囲 1) 事業者名及び代表者名 2) 所在地 3) 環境管理責任者及び事務局及び連絡先 4) 事業創立年月日 5) 事業活動の内容 6) 事業規模 7) EA－21推進組織図 8) 対象範囲	①②	3
2	環境経営方針	③	4
3	環境経営目標	④	5
4	環境経営目標の実績	⑦	6
5	環境経営計画と取組結果とその評価	⑤⑥ ⑦	7
6	次年度の環境経営目標及び環境経営計画	⑦	8
7	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに 違反、訴訟等の有無	⑧	9
8	代表者による全体評価と見直しの結果	⑨	9

※レポートの要求Noとは、建設業者向けガイドライン・環境経営レポートの
レポート作成の番号①～⑨のこと。

1. 組織の概要及び対象範囲

1) 事業者名及び代表者名

株式会社 天井丸建設
代表取締役 小田 洋史

2) 所在地

本社事務所 〒889-1413 宮崎県児湯郡新富町富田西3丁目25番地
資材置場 〒889-1413 宮崎県児湯郡新富町富田西3丁目39番地-1

3) 環境管理責任者及び事務局、担当者氏名・連絡先

EA-21 責任者 井上 光明
EA-21 副責任者 池田 孝・亀井 綾乃・増田 勝浩
EA-21 事務局 経理部 仲村 優

連絡担当者 井上 光明
TEL 0983-33-3186 FAX 0983-33-5099
E-mail tenjyoumaru@cup.ocn.ne.jp

4) 事業創立年月日

1984年 4月21日 〔創立より41年〕

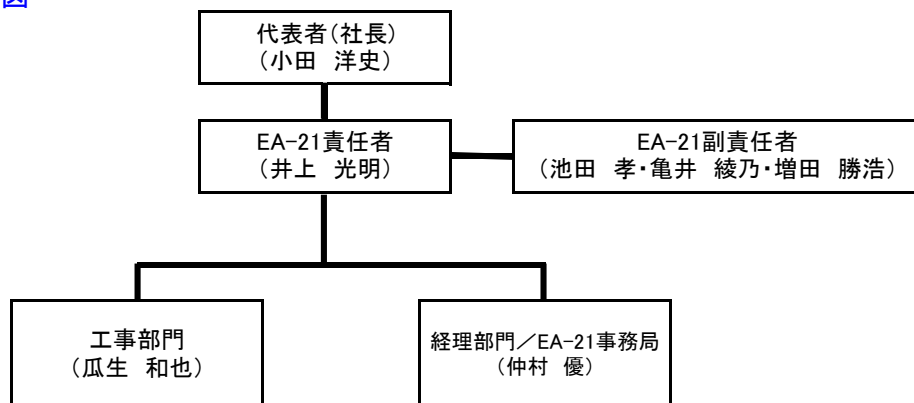
5) 事業活動の内容

建設業(土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、水道施設工事業、解体工事業)

6) 事業規模

項目	単位	2021年	2022年	2023年	2024年
工事件数	件	18	6	9	15
従業員数	人	10	17	17	25
床面積	m2	355	355	355	355
敷地面積	m2	670	670	670	670

7) 推進組織図



8) 対象範囲 (全組織・全活動)

組織・・・ 本社事務所、資材置場
活動・・・ (5)事業活動の内容全て
レポート対象期間 表紙に掲載
レポート発行日 表紙に掲載

と

2. 環境経営方針

環 境 経 営 方 針

株式会社天井丸建設は、地域との共生を図り、地球環境の保全と、その重要性を認識し、豊かな自然を次世代に引き継ぐ為、地球にやさしい企業を目指し、環境に配慮した事業活動を行います。

1. 株式会社天井丸建設は、**建設工事**の事業活動を通じて、環境経営マネジメントシステムを構築し、環境経営目標・環境経営計画を定め、継続的な改善に努めます。
2. 関連する環境の法規制を遵守するとともに、行政機関・団体・地域の要請に協力します。
3. 当社の事業活動に於いて、環境に与える影響を削減するために、次の事項に対して優先的に取り組みます。
 - ① 化石燃料、電気使用量の節減による、二酸化炭素排出量の削減。
 - ② 事業活動工程から排出される廃棄物の削減とリサイクル推進。
 - ③ 節水活動による水使用量の削減。
 - ④ 環境に配慮した施工計画や材料等の研究、提案を積極的行います。
4. 新技術活用や創意工夫で安全且つ効率的な施工に努めます。
5. 環境保全に関する啓蒙・啓発と、地域での社会貢献活動に努めます。

この環境経営方針は、当社全従業員に周知徹底するとともに、一般に開示します。

2020年3月10日改定
2014年3月12日制定
株式会社 天井丸建設
代表取締役 小田 洋史

3. 環境経営目標

第四次中期(2023年度～2025年度)の環境経営目標は以下の通りです。

取組み項目 (目標項目)(単位)		実施区	年 度 別 環 境 目 標			
			基準値 2020～2022年度 の実績	2023年度 (2023年4月～ 2024年3月)	2024年度 (2024年4月～ 2025年3月)	2025年度 (2025年4月～ 2026年3月)
省エネルギー項目	1. 二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)	事務所	8,572.6	8,486.9	8,444.0	8,401.2
		現場	278,595.9	275,809.9	274,416.9	273,023.9
		全社	287,168.5	284,296.8	282,860.9	281,425.1
	①電気使用量の削減 (kWh)		*削減率%⇒	1.0	1.5	2.0
		事務所	7,876.0	7,797.2	7,757.9	7,718.5
		現場	7,767.0	7,689.3	7,650.5	7,611.7
		全社	15,643.0	15,486.5	15,408.4	15,330.2
	②ガソリン使用量の削減 (L) *2021.5.1 基準値を見直し		*削減率%⇒	1.0	1.5	2.0
		事務所	2,374.5	2,350.8	2,338.9	2,327.0
		現場	12,178.4	12,056.6	11,995.7	11,934.8
		全社	14,552.9	14,407.4	14,334.6	14,261.8
	③軽油使用量の削減 (L)		*削減率%⇒	1.0	1.5	2.0
		事務所	0.0	0.0	0.0	0.0
		現場	95,860.7	94,902.1	94,422.8	93,943.5
		全社	95,860.7	94,902.1	94,422.8	93,943.5
2 廃棄物の削減	①. 一般廃棄物の削減 (kg)		*削減率%⇒	1.0	1.5	2.0
		全社	45.4	44.9	44.7	44.5
	②. 建設副産物再資源化率 の向上 (リサイクル率向上)	現場	2414.8トン [97.3%]	環境経営計画を遵守し リサイクル率を向上する。目標95.0%以上		
3. 水資源使用量の削減 (m ³) *2024年度に基準値を見直し			*削減率%⇒	1.0	1.5	2.0
		事務所	134.2	132.9	132.2	131.5
		現場	0.0	0.0	0.0	0.0
		全社	134.2	132.9	132.2	131.5
4 有益な環境活動	①. 環境配慮型施工実施 および工期短縮	全社	環境経営計画 の遵守	環境経営計画 の遵守	環境経営計画 の遵守	環境経営計画 の遵守
	②. 環境ボランティア活動の 取組推進	全社	10回	5回以上/年	5回以上/年	5回以上/年

- *2023.5.1 改訂点
- ・2020～2022年度の実績を新基準値として、削減率を1.0% 1.5% 2.0%として3ヶ年の目標値を設定した。
 - ・電気のCO₂排出係数は、2023年(令和5年).1.24 環境省公表・九州電力調整後のメニューBの係数を採用。
- *2024.5.1 改訂点
- ・水資源の2023年度の使用量から基準値を見直し、2023年度を基準値とし改訂した。

※化学物質(PRTR制度対象物質)の使用、購入、保管、移動ともありません。

※二酸化炭素排出量は下記の係数に基づき設定した (排出量(kg-CO₂) = 使用量(A) × 排出係数(B))

	単位	使用量(A)	排出係数 (B)
購入電力	kWh	kWh	0.389 (kg-CO ₂ /kWh)
ガソリン	L	L	2.32 (kg-CO ₂ /L)
軽油	L	L	2.58 (kg-CO ₂ /L)

4. 環境経営目標の実績

2024年度(4～3月)1年間の環境目標に対する達成状況(実績)は以下の通りです。

取 組 項 目		2024年度目標値 (2024年4月～ 2025年3月)	2024年度 実績 (2024年4月～ 2025年3月)	達成率	判定	
1. 二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)	全社	282,860.9	269,743.6	104.9%	○	
		(灯油を含む総排出量)	270,229.2			
	①電気使用量の 削減 1.0% (kWh)	事務所	7,757.9	8,859.0	87.6%	×
		現場	7,650.5	11,252.0	68.0%	×
		全社	15,408.4	20,111.0	76.6%	×
	②ガソリン使用量の 削減 1.0% (L)	事務所	2,338.9	2,954.9	79.2%	×
		現場	11,995.7	17,367.9	69.1%	×
		全社	14,334.6	20,322.9	70.5%	×
	③軽油使用量の 削減 1.08% (L)	事務所	0.0	0.0	－	－
		現場	94,422.8	83,244.7	113.4%	○
		全社	94,422.8	83,244.7	113.4%	○
2. 廃棄物の削減 ①一般廃棄物の削減 1.0% (kg) ②建設副産物の再資源化率 の向上	①全社	44.7	33.4	133.8%	○	
	②現場	環境経営計画を 遵守し、再資源化 率95%以上	756.4/756.4t 100.0%	105.3%	○	
3. 水資源使用量の削減 1.0% (m ³)	全社	132.2	131.0	100.9%	○	
4-①環境配慮型施工実施 および工期短縮	全社	環境経営計画 の遵守	遵守	－	○	
4-②環境保全活動の取組推進	全社	5回以上／年	11	220.0%	○	

※ 購入電力のCO₂排出係数は、九州電力の調整後のメニューBの0.389(kg-CO₂/kWh)を使用しました。

※ 達成率は、項目1～3が、目標/実績 100%以上が評価○で、項目4～が、実績/目標で100%以上が、評価○とする。

5、環境経営計画と取組結果とその評価

2024年4月1日から～2025年3月31日までの環境活動計画と取組結果は以下の状況です。

[実施スケジュールの年間とは、4月～翌年3月までとする。]

取組項目と活動内容		推進責任者	実施スケジュール	取組結果	評価
1・二酸化炭素排出量の削減	【電気使用量の削減】 ①不在箇所、昼休みなどの電気消灯の徹底 ②空調温度管理(設定温度厳守)及び扇風機の併用 ③使用しない機器の電源オフの徹底 ④ノー残業ディを決め実行	工事部 井上	①③④年間 ②7～9月 11～3月	不必要な場所・昼休み等の消灯、使用しない機器の電源オフ、OA機器の省電力設定の徹底に努めた。設定温度の管理を徹底した。エアコンと扇風機の併用に取り組んだ。ノー残業ディを決め実行した。	○
					○
					○
					○
	【燃料(ガソリン・軽油)使用量の削減】 ①エコドライブの徹底 <事務所> ②現場作業でエコ運転の徹底 <現場> ③効率の良い配車・相乗りの推進 <事務所> ④重機の定期点検の実施 <現場>	工事部 井上	年間	事務所・各現場及び毎日の安全パトロールにおいてのエコドライブに努めた。重機等の作業前点検・作業できる範囲のスロットルの徹底により目標達成に努めた。	○
					○
					○
					○
2・廃棄物の削減	【一般廃棄物の削減】 ①廃棄物の分別計量と記録[廃棄物廃棄表のへ記帳] ②コピー用紙などの節減[裏紙使用] ③資材梱包材の業者持帰り依頼	工事部 井上	年間	一般廃棄物は、計量計で計り記録した。事務所ではペーパーレスの推進・両面コピーの徹底・ミスプリント削減を図った。資材梱包材は極力業者へ持ち帰りを依頼したが管理する期間が長い物は自社で処分した。	○
					○
					○
	【建設副産物の再資源化率向上】 ①建設残余資材が発生したら、資材倉庫に持ち帰り分別して保管する(再利用の推進) ②廃棄物処理業者の適正な選択と契約管理	工事部 井上	年間	産業廃棄物は設計書に基づき、適正に処理し、マニフェスト管理表により管理している。	○
					○
3・水使用量	【水資源使用量の削減】 ①定期的な漏水点検 ②使用時のこまかな蛇口開閉 ③手洗い時の流し水を短くする	工事部 井上	年間	漏水点検を定期的に行った。節水・啓発活動等を行い、節水意識を高めるよう努めている。	○
					○
4・有益な環境活動	【環境配慮型施工の推進】 ①環境に関する研究会・講習への参加 ②環境配慮型工法・資材・重機等の採用や提案	工事部 井上	年間	水辺の講習会に参加した。濁水防止を心がけ施工した。粉塵対策を行い施工した。環境・生態系を考慮し施工した。	
					○
					○
	【環境保全活動の取組推進】 ①事務所周辺、現場周辺の清掃活動 ②所属協会依頼の環境活動の積極的参加 ③地域の環境ボランティア活動への参画	工事部 井上	年間	環境関連のボランティアは、積極的に参加し11回の実績となった。	
					○
					○

6、次年度の環境経営目標及び環境経営計画

次年度〔2025年度〕の環境経営目標と環境経営計画は、下記の通り取組めます。

*スケジュールの年間とは、4月～翌年3月です。

次年度の環境経営計画				次年度の環境経営目標	
取組項目と活動内容		推進責任者	実施スケジュール		
1. 二酸化炭素排出量の削減 ・省エネ活動の推進	省エネルギー項目	EA21 責任者	年間	次年度の環境経営目標は、5ページの3. 環境経営目標に掲載しています。	
		工事部 井上	①年間 ②7～9月 11～3月 ③年間 ④年間		
	2. 廃棄物の削減	工事部 井上	①年間 ②年間 ③年間 ④年間		
		工事部 井上	①年間 ②年間 ③年間		
3 水使用量	環境活動	工事部 井上	①年間 ②年間 ③年間		
		工事部 井上	①年間 ②年間 ③年間		
4 環境活動	環境活動	工事部 井上	①年間 ②年間		
		工事部 井上	①年間 ②年間 ③年間		

特記. 2025年度は2024年度の活動内容を継続しますが、会社や社会の状況変化で見直すこともあります。

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業に係る主な環境関連法規は、担当者が定期的にWeb（環境省ホームページ「環境基準・法例等」）の改定履歴や建設業協会等からのお知らせ等から年次の運用開始時に見直しと取り纏めを行ってます。

尚、環境関連法規の遵守状況確認を実施した結果、違反及び監督官庁からの指摘も、地域住民からの訴訟もありませんでした。

環境関連法規の遵守状況の確認と評価は、3ヶ月に1回実施し、「環境関連法規の取り纏め(兼)遵守評価表」に記述している。現場での遵守状況は、月1回の安全パトロールや会議等を通じて常に確認しています。

〔当社の主な環境関連法規と遵守状況は下記の通りです。〕

主な関連法規名	遵守事項	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法(廃掃法)	委託契約の締結、マニフェストの交付	遵守
	回収・照合確認（発行後B2,D票90日E票180日以内） A表の5年間保管	遵守
	産業廃棄物管理票交付等状況報告(6月30日までに知事へ報告)	遵守
	保管場所の掲示板設置	遵守
再生資源利用省令	・再資源利用計画書・実施書の作成 ・再資源利用促進計画書・実施書の作成	遵守
建設リサイクル法	発注者への書面による計画等説明、完了報告	遵守
	工事着手する日の7日前までに必要事項を都道府県知事に届け出	遵守
	分別解体、再資源化促進、『再資源化により得られた資材』の使用	遵守
フロン排出抑制法	・定格出力7.5kW未満の業務用エアコン等の簡易点検実施 （建設機械搭載のエアコンを含む）	該当機器なし
	・解体工事における解体前フロン類機器設置有無の確認、発注者への書面説明 ・第1種フロン類充填回収者への引き渡し	遵守
騒音規制法	・知事へ7日前までに届け出 ・作業敷地境界にて85デシベル以下	遵守
振動規制法	・知事へ7日前までに届け出 ・作業敷地境界にて75デシベル以下	遵守 該当工事なし

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

評価項目	代表者による評価と指示(○当年の評価 ●次年度への指示)
①環境経営計画の実施状況 及び 環境経営目標の達成状況	○環境経営計画(兼)実施状況評価表で確認、取り組む項目別に細かな活動計画〔活動内容〕が設定されていて、実施はほぼ遵守されていることを確認した。 ●次年度(2025年度)も環境改善を意識して活動に取り組んでいただきたい。 *-----* ○環境経営目標の達成状況は、仕事量と業績が大幅に増加した中で、省エネルギー項目の全社CO2削減は104.9%と達成できた。ただ個別では電気・ガソリン使用量が大幅に目標値に届かなかった。原因は会社の規模の拡大と思われるが、軽油は工事の条件で113.4%と達成し全社CO2削減に繋がった。また現場での水資源確保が困難もあり会社から持参により水使用量がやや多かった。 ●次年度は、第四次中期(2023～2025年度)の3年目の活動となるが、昨年策定した環境経営目標と環境経営計画の活動内容を再度全社員に周知し2025年度の活動を開始し目標達成していただきたい。 次年度(2025年度)の活動結果をみて、第五次中期の基準値・目標値・活動計画を見直したい。
②環境関連法規等の遵守状況	○当社に関連する環境法規は、必要な法規を取り纏めされ、遵守されていることを確認した。 ●次年度もコンプライアンスに従い意識をもって業務と環境に取り組んでいただきたい。
③外部からの環境に関する苦情や要望等	○事務所や現場等で各自が環境に関する対策を積極的に取り組んできたことにより当年度も環境に関する苦情、クレームが無かった。 ●次年度も苦情・クレームを発生させない意識で取り組んでいただきたい。
④環境経営方針	○●特に不具合部が無かったので現行方針を継続する。
⑤実施体制	○●不具合は無かったので現行の体制を継続する。
⑥環境経営システムその他全般	特になし